

芦別市における統計調査活動を通じた地域貢献

毎日新聞芦別販売所 所長 八柳 斉

地域に貢献したいという強い使命感から 統計調査員として 20年以上にわたる活動

●実施期間

1993年～

●実施地域

北海道芦別市

●活動概要

北海道芦別市の毎日新聞芦別販売所所長の八柳斉さんは、統計調査員として芦別市の各種統計調査に20年以上携わっている。

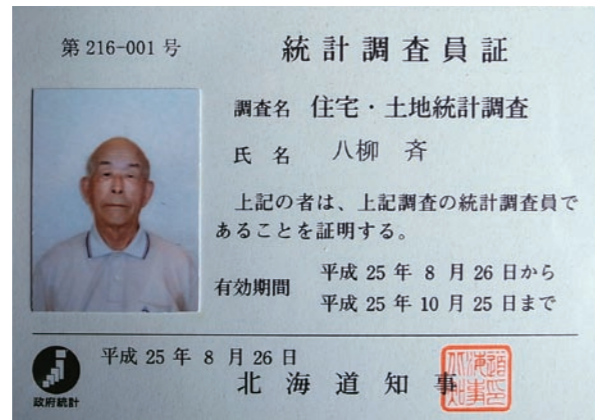
個人情報に対する意識の高まりや、不在がちな単身世帯、共働き世代の増加、高齢化による調査員不足など、社会情勢の変化に伴い、統計調査を実施する環境が厳しくなる中、地域に貢献したいという強い使命感から自ら重責をかってでて、高い回収率を確保している。また丁寧な対応を心がけ、統計の正確性の確保に寄与し、調査員として高い信頼を得ている。

長年にわたる統計調査への貢献活動が認められ、2012年5月に北海道知事から感謝状が贈られるなど、芦別市の統計行政の推進に大きく貢献している。

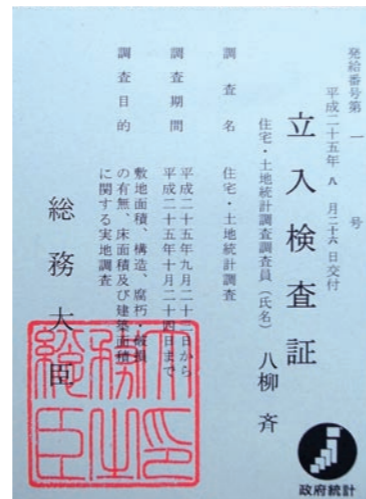
*

八柳 斉 (はちやなぎ・ひとし)

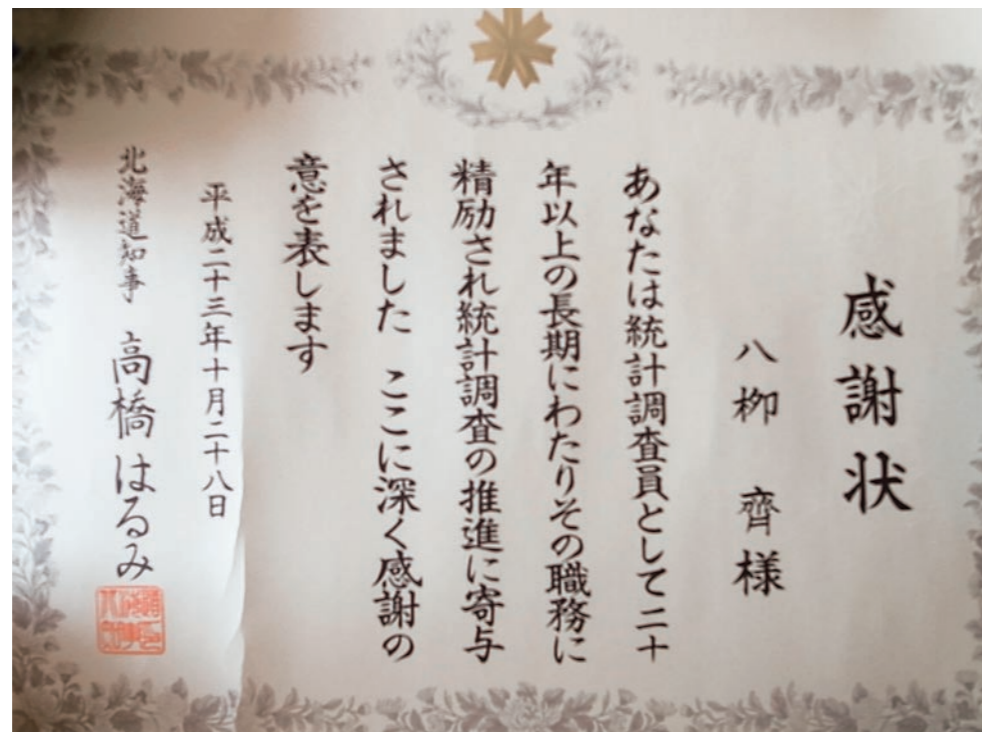
■統計調査員証



■立入検査証



■知事からの感謝状



◎統計調査実施中



たすけ愛企画

北海道新聞旭川住吉・道新たしばな販売所 所長 橘 佳一郎

「顔が見える販売所」を目指し 募金・公園清掃・リングプル回収収益による 車いすを寄贈する活動

●実施期間

2001年～

●実施地域

北海道旭川市住吉・春光・春光台・末広（一部）地区

●活動概要

北海道旭川市の北海道新聞旭川住吉・道新たしばな販売所所長の橘佳一郎さんは、2001年から育児院の子どもたちのための募金、年2回の区域内3公園の清掃実施、年1回のリングプル回収収益による車いす寄贈、ミニコミ紙の発行などを行っている。

育児院募金は、チラシで募金を呼びかけて集め、地元の育児院の子どもたち一人一人にほしいものを、子どもの日にプレゼントしている。昨年度は41万4,420円が集められた。

ミニコミ紙は月3回発行し、中でもインタビュー企画が好評を博している。人と人のつながりが希薄になっている現代社会で学校の協力を得ることができ、「顔が見える販売所」を目指し活動している。

* 橘 佳一郎 (たしばな・けいいちろう)

◎ミニコミ紙「スマイル」

発行部数7000部
発行所名/株道新たしばな販売所
所在地/旭川市住吉5条2丁目5-12
電話0120-01-3746
旭川市住吉5条2丁目5-12
TEL 51-3746 FAX 52-8025

第404号
2013.9.2
第①・第③・第④
WEEKLY月曜日発行!

今月の予定
9月9日(月)新聞(朝刊)休刊日
18日(水)新聞(朝刊)休刊日
26日(木)ポケットブック(朝刊折込)

夕刊休刊日
9月16日(水)
23日(水)

お知らせ!
古紙回収ご登録のお客様
今月号より一時的に休刊いたします。
近くまでお越しの際はご挨拶いたします。

ボランティア「たすけ愛」企画!
みんなの公園をきれいに...

公園清掃 ゴミ拾い
たしばなスタッフと一緒にしませんか?
《たしばなスタッフは黄色いジャンパーを着用しています》

9月12日(土) 午前10:30集合
※小雨決行・雨天順延(9月19日)
(わからない場合はお電話下さい)

ご賛同頂けるお客様は、下記の公園でお待ちしております。

【お近くの公園へお越し下さい】
■井上靖通り 集合場所 トイレ付近
(春光5条2丁目)
■春の台公園 集合場所 正面入口付近
(春光台5条1丁目)
■鷹の巣公園 集合場所
(春光台3条8丁目)

※今回、千代の山公園から「鷹の巣公園」に変更
※ゴミ袋は「たしばな」をご用意致します。
※軍手や拾う用具等はご用意しておりますが、ご持参頂けますようご協力宜しくお願い致します。

最後に飲み物をご用意しています。

発行部数7000部
発行所名/株道新たしばな販売所
所在地/旭川市住吉5条2丁目5-12
電話0120-01-3746
旭川市住吉5条2丁目5-12
TEL 51-3746 FAX 52-8025

第401号
2013.8.5
第①・第③・第④
WEEKLY月曜日発行!

今月の予定
8月12日(月)新聞(朝刊)休刊日
21日(水)新聞(朝刊)休刊日
22日(木)ポケットブック(朝刊折込)

お知らせ!
(7/16チラシ折込済み)
「産地産直企画」加納農園のキングルビー/明日6日(木)ご注文受付
ご注文に発送してあります。発送が済み次第に発送させていただきます。

「たしばな『たすけ愛』企画」
リングプルの回収に
お伺い致します!

8月21日(水)・22日(木) 回収予定

来年はチラシは配らずスマイルだけで告知する

未登録のお客様はお電話一本でご登録ができます。
(登録済みの方はお電話不要です。)

第401号 (2013年8月5日)

「募金」の告知チラシ

「たしばな『たすけ愛』企画」
ガソリン代高騰や生活必需品の物価上昇の大きな折、心苦しい限りではございますが、諸事情により親を離れて頑張っている「旭川育児院の75名の子どもたち」に今年もお客様からの募金で「こどもの日」にプレゼントをしたいと思っております。

旭川育児院で暮らす子どもたち
ホームでは6名の子どもたち、合計75名の子どもたちが、昨年完成した新しい施設で元気に過ごしています。

春の公園ごみ拾い
5月18日(土) 実施しました!

旭川育児院の子どもたちの感謝の手紙

6月 高校行事のチラシ

第394号 (2013年5月27日)

◎ミニコミ紙「スマイル」の別刷「スマイリースポーツ(スマスポ)」

2011年 第56回北海道吹奏楽コンクール
全道大会 金賞 北星中学校

東日本大会出場!

成績を上げる指導者No.1塾
大町学習塾

私達は、応援します!

発行部数7000部
発行所名/株道新たしばな販売所
所在地/旭川市住吉5条2丁目5-12
電話0120-01-3746
旭川市住吉5条2丁目5-12
TEL 51-3746 FAX 52-8025

第387号
2013.3.18
第①・第③・第④
WEEKLY月曜日発行!

今月の予定
3月27日(水)新聞(朝刊)休刊日
28日(木)ポケットブック(朝刊折込)
3月の休刊日はありません。

お知らせ!
古紙回収ご登録のお客様
本誌は、3月22日(金)発行
春光地区の一部 3月22日(金)発行
春光地区・末広地区 3月28日(木)・29日(金)発行

「たしばな『たすけ愛』企画」
ガソリン代高騰や生活必需品の物価上昇の大きな折、心苦しい限りではございますが、諸事情により親を離れて頑張っている「旭川育児院の75名の子どもたち」に今年もお客様からの募金で「こどもの日」にプレゼントをしたいと思っております。

旭川育児院
たすけ愛募金

詳しくは
本日の折込みチラシを
ご覧ください!

第387号 (2013年3月18日)

発行部数7000部
発行所名/株道新たしばな販売所
所在地/旭川市住吉5条2丁目5-12
電話0120-01-3746
旭川市住吉5条2丁目5-12
TEL 51-3746 FAX 52-8025

第394号
2013.5.27
第①・第③・第④
WEEKLY月曜日発行!

来月の予定
6月10日(月)新聞(朝刊)休刊日
19日(水)新聞(朝刊)休刊日
27日(木)ポケットブック(朝刊折込)

お知らせ!
「たしばな感謝祭」
6月10日(月)正午必着
たくさんのご寄贈
お待ちしております!

「たしばな『たすけ愛』企画」 児童養護施設 旭川育児院
募金総額(151軒)
たすけ愛募金 427,032円

今年も多くのご賛同をいただきましたことに
心からお礼申し上げます。

お預かり致しました募金は、こどもの日に合わせて旭川育児院に寄付させていただきます。
旭川育児院の院長先生と子ども達から地域の皆様へ感謝の手紙が届いておりますので、ご紹介させていただきます。(画像にも掲載)

旭川育児院院長 鹿野誠一

スマスポ
2011年
春光台中学校
女子シングルス
3位
藤井春那さん 1年生

私達は、応援します!

どうしんあいの里こどもマラソン大会

北海道新聞あいの里・道新吉村販売所 所長 吉村英樹

全道から参加するマラソン大会運営 ちびっこランナーの交流の場を提供

●実施期間

1993年10月～

●実施地域

北海道札幌市北区
あいの里地区

●活動概要

北海道札幌市の北海道新聞あいの里・道新吉村販売所所長の吉村英樹さんは、1993年から小学校各学年男女別マラソン大会、各学校対抗駅伝を年1回開催しており、毎年地元の町内会や学生生徒会などの約200人のボランティアで構成する実行委員会委員長として、大会運営を担っている。

初回の参加者は582人だったが、2012年の大会は1,245人が参加するなど北海道全域から参加者が訪れ、ちびっこランナーの交流の場となっている。大会終了後には入賞者を掲載した号外やミニコミ紙を発行し、参加学校や入賞者に配達している。

*

吉村英樹（よしむら・ひでき）

■マラソン大会の様様



北海道新聞（入賞記年号）2011年10月9日付号外

■あいの里こどもマラソン参加者数推移

第1回	582
第2回	965
第3回	1,173
第4回	1,204
第5回	1,132
第6回	1,048
第7回	1,100
第8回	1,072
第9回	1,132
第10回	1,166
第11回	1,236
第12回	1,220
第13回	1,175
第14回	1,137
第15回	1,142
第16回	1,211
第17回	1,284
第18回	1,335
第19回	1,199
第20回	1,245

（単位：人）



学校通信・学校だよりの地域市民への無償配布

北海道新聞士別北販売所、北海道新聞士別南販売所、北海道新聞上士別販売所、北海道新聞温根別販売所、北海道新聞多寄販売所、読売センター士別

系統を超え 地元学校だよりを無償で配布する 長期にわたる貢献活動

●実施期間

2003年頃～

●実施地域

北海道士別市全域 (朝日町除く)

●活動概要

北海道士別市内にある新聞販売所6店は系統を超えて、同市内にあるすべての小・中・高校が毎月発行する「学校通信」「学校だよりの約6,000枚を、2003年から10年以上にわたり新聞に折り込み、無償で市内の家庭に配布している。

地域の生活者に教育内容が知らされることで、学校教育の方針が理解され、児童、生徒がいらない家庭でも教育への関心が高まるなど、教育問題は地域のこととして取り上げられやすい環境が生まれた。

販売所特有の仕事を生かして、学校・地域・家庭をつなぐ活動として高く評価された。

北海道新聞士別北販売所、北海道新聞士別南販売所、北海道新聞上士別販売所、北海道新聞温根別販売所、北海道新聞多寄販売所、読売センター士別＝士別市内にある新聞販売所6店。西出輝雄(にしで・てるお)代表

◎各校の「学校通信」「学校だよりの概要

士別翔雲高校だよりの概要

地域の皆様へ本校の姿をお伝えさせていただき、平成21年度より士別翔雲高校だよりを発行させていただいております。本年も変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

学校長よりご挨拶申し上げます

地域の皆様・保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。4月1日付で新任いたしました。佐藤和夫と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 1 「加・徳・体」のバランスの取れた生徒を育成する。
2 未来を力強く切り開く「たくま」しい力を育成する。
3 人を思いやり、郷土と自然を大切に、心豊かに生きていく力を育成する。

地域の皆様・保護者の皆様にご協力いただきながら、生徒一人一人の進路実現を図る高い教育活動を実施してまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解・ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

士別翔雲高校だよりの学校通信第43号(2013年5月11日発行)

入学式を挙行了しました

4月8日(月)に、本校体育館で入学式を行いました。本年は、普通科に男子10名、女子49名、総合科に男子11名、女子19名が入学しました。

PTA総会が行われました

4月21日(日)にPTA総会・懇談会・投票総会を行いました。PTA総会では平成24年度の事業報告、平成25年度の予算・事業計画案等について報告・議決がなされました。

5月の行事予定

- 13日(月) 公開授業開始(17日金曜日まで)
14日(火) 図書館バス乗車
16日(木) 3年運動会ダンス
18日(土) 第3回公開授業(3年)
21日(火) 進路説明会
22日(水) 社会科
24日(金) 高校進路実証実験(26日(日)まで)
27日(月) 振替休日
31日(金) 前期中間考査(6月5日(木)まで)

学校に足を運んでみませんか

5月17日(金) 5～6時(13時30分～15時20分)の授業を、地域住民の皆様や保護者の皆様にご覧いただく授業を公開させていただきます。

新聞情報 平成25年6月22日(土曜日) 週2回(水・土発行)
道新西出とV.C士別の共同事業
「学校だよりの通信配布」
一般市民が協会地域貢献大賞に推薦

新聞情報 2013年6月22日付

せせらぎ 2学期の学校づくりにご理解とご協力をお願いします
校長 三浦 隆
25日曜日の朝、朝一練習が始まりました。子どもたちの元気な声が校内に響いていました。

せせらぎ 士別市立士別西小学校 学校だよりの2013年8月号

南小だよりの概要
1学期が終わります。有意義な25日間を！
校長 松本 博
危険な遊びの7つを禁止し、安全な遊びを推奨しています。

南小だよりの概要
2学期がスタート
校長 佐藤 隆
25日曜日の朝、朝一練習が始まりました。

「ほろいどう」学方・体方向上運動について
夏休みの過ごし方
夏休みの過ごし方
夏休みの過ごし方

南小だよりの概要
3月の行事予定
今年も楽しい7ヶ月！
今年も楽しい7ヶ月！

南小だよりの概要
第53回学校祭近づき
自分の未来を見つめて
自分の未来を見つめて

なかだだねっと「復興応援バスツアー」

河北新報中田販売所 所長 武藤靖人

読者対象の東日本大震災被災地をめぐるバスツアーの企画・実施

●実施期間

2012年3月～

●実施地域

宮城、岩手、福島各県の東日本大震災被災地等

●活動概要

宮城県仙台市の河北新報中田販売所所長の武藤靖人さんは、「被災地を応援したいが何をしたらよいか分からない」という読者の声に応え、2012年3月から読者を対象に東日本大震災被災地をめぐるバスツアーを企画・実施している。被災地の販売所と協力して復興の進まない被災地をバスで訪問している。これまでに12回実施し、延べ500人が参加した。

「大人の修学旅行」と題し、被災現場の視察だけでなく、現地の仮設商店街での消費などを通じ、経済的にも被災地復興に貢献している。また被災者である現地販売店主が語り部となり、当時の生の状況を参加者に伝えている。

系統内の他店も同様の企画を実施するなど、拡大しつつある。

*

武藤靖人（むとう・やすひと）

■バスツアーの様子と参加者からのアンケート



河北新報 2012年10月8日付

秋の会津訪ねて応援

仙台の新聞販売店企画
100人が「大人の修学旅行」

福島第一原発事故による風評被害で観光客が減っている福島県を支援しようとして、仙台市などから約100人が「大人の修学旅行」として会津若松市を訪れた。企画したのは河北新報中田販売所（仙台市太白区）仙台のほか栗原市などから市民が参加した。一行は秋の雰囲気漂い始めた飯盛山や鶴ヶ城

■中田販売所復興応援バスツアー開催状況

催行回数	催行日	参加人員	※行先	特記事項
1	平成24年3月18日	48	閉上～亘理～塩竈～石巻～女川	初ということもあり、弾丸バスツアー気味の行程となってしまった。昼食付2980円と格安での催行を目指したため、添乗員兼バスガイドになる。中3の息子を添乗補助に。
2	5月20日	83	南三陸～女川～石巻	この回まで、お弁当付とし、車内での昼食。阿部所長に語り部を行って貰った。女川初の語り部となる。大学2年の娘を添乗補助に。
3	7月8日	81	気仙沼～南三陸町	要望の多かった、気仙沼方面1日でバス2台満席。添乗補助に本社伊藤担当。昼食を初めて、気仙沼観洋で昼食、藤田所長に当時の様子をお話いただいた。
4	7月29日	21	気仙沼～南三陸町	前回予約できなかった方達のために、同月内2回目の決行。昼食は、気仙沼プラザホテル
5	9月9日	39	南三陸～雄勝～女川～石巻	募集時には掲載しなかった、大川小に立ち寄り献花。南三陸さん商店街で、初の自由昼食。
6	10月18日	36	会津	風評被害に苦しむ、会津方面へ大人の修学旅行と銘打って、栗原方部の長谷川君と合同。
7	11月18日	39	陸前高田～気仙沼～南三陸	要望の多かった陸前高田へ、初の岩手県。気仙沼南町紫商店街で自由昼食。
8	平成25年2月17日	36	塩竈～女川	奇跡的に被害の少なかった塩竈の仲卸市場へ。今回初めて、語り部さんをお願いした。女川観光協会からの要請で、震災後初の観光遊覧に協力。
9	4月14日	31	気仙沼～南三陸町	気仙沼観光協会の語り部さん要請、第18共徳丸・案波山で、当時の様子を語っていただいた。
10	6月8、9日	24	中新田～えさし～遠野～宮古（泊）～田老～大槌～三鉄～釜石～陸前高田～気仙沼	10回を記念し、初の1泊を実施。内陸部の観光客減少に協力、中新田の森さんにご協力をお願いした。
11	7月28日	40	相馬野馬追	2月17日、相馬からいらっしゃった方と、今回は野馬追に行きますと約束を実現。
12	9月29日	22	南三陸～女川～石巻	女川の新鮮サンマを食べていただきたく、今回初の、お土産付を実施。
合計		500		

■参加者からのアンケート

- 1回目 • 震災の状況を見て、テレビとは全く違った。
- 2回目 • 何かできることをしたいとおもいながら、何もできないでいました。現実を見てあまりのことに、復興はまだだと感じました。
- 3回目 • 新聞、雑誌で見るより、震災現場を見ていろいろな面で、沢山考えさせられました。
- 4回目 • このようなツアー、私の記憶にはなかった。ただお金を払って新聞を届く新聞だけではなく販売店さんとの触れ合いとてもうれしいです。
- 5回目 • やっとツアー参加の気持ちが出て来たところ。ここ1年半じっとしてました。雄勝方面へ行くことができました。どうもありがとうございました。
- 6回目 • 陸前高田は初めて行ったので、あまりに何もなくなり悲しいです。
- 7回目 • 私も、蒲生ですべて流失してしまい、気持ちが滅んでいましたが、とても楽しい旅行を計画していただき参加することができうれしかったです。元気をいただきありがとうございました。
- 8回目 • 金銭を度外視(?)した企画に感謝申し上げます。今まで以上に充実したツアーでした。
- 9回目 • 生の声をそのまま聞き実感が出ました。テレビ、新聞等で見聞きしていても、実際目の当たりして涙が出ました。
- 10回目 • 団体での宿泊ツアーは久しぶりなのと、自分が就職した所が気仙沼、初めて仲人をした人が陸前高田に住んでいたのが、感慨深く参加させていただきました。
- 11回目 • 思っていたより素晴らしかったです。一度は見たいと思っていたので最高でした。